

春は弥生。ウメ、アセビ、マンサクに続き、クロモジ、アブラチャンなどクスノキ科の植物が開花します。河津桜や小彼岸など早咲きのサクラの開花もあと少しです。

### ★開花情報

一子侘助（イチコワビスケ）（ツバキ品種）ツバキ科ツバキ属（写真1）

開花確認場所：ツバキ園

ヤブツバキの突然変異種で、雄しべの葯（先端の花粉がついている部分）が白い品種です。“侘助（わびしん）ツバキ”と呼ばれ、様々な近縁品種がありますが、この一子侘助が第一号です。枝の伸長がよく、茶花として利用されています。

アケボノアセビ（曙馬酔木）ツツジ科アセビ属（写真2）

開花確認場所：県木の森から第5駐車場への園路沿い

紅色の花をつけるアセビの品種で、まれに自生します。花の色に濃淡があり、濃紅色のものをベニバナアセビと呼びます。他にも園内にはありませんが、高さ20～70cmと小型で細い葉を持つヒメアセビなどの園芸品種や、奄美や沖縄に生え、普通のアセビより花が長いリュウキュウアセビなどもあります。

### その他見頃情報

開花（木本）…アテツマンサク、マンサク、ソシンロウバイ、ウメ、ヤブツバキ、  
メタセコイア、アブラチャン、キャラボク  
開花（草本）…レンテンローズ





写真1 一子侘助 (ツバキ園) H26.3.12



写真2 アケボノアセビ (第5Pへの園路沿い) H26.3.12